

景気動向調査結果

この調査は、県内中小企業の景況・金融動向を把握するため、当協会の保証を利用されている企業の皆様のご協力により、四半期ごとにアンケートを実施しているものです。

【調査方法】

郵送による無記名アンケート方式
調査時点 令和1年12月2日発送
令和1年12月12日投函期限
調査対象 信用保証利用先1,500企業
有効回答数 329 企業(回答率 21.9%)

※ 当期:R01年10月～12月実績見込
次期:R02年1月～3月期予測

【DI値について】

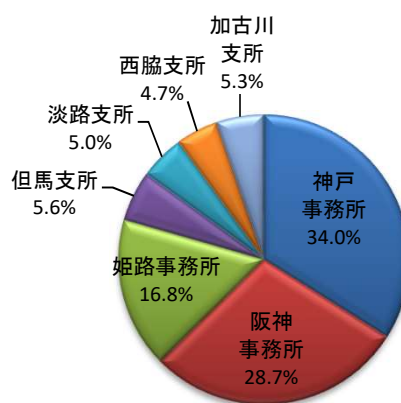
- ◎回答の各構成比を算出し、「増加」・「好転」等の項目割合から「減少」・「悪化」等の割合を差引いて算出しています
- ◎表示されている構成比とDI値は、四捨五入の関係で必ずしも一致しません

兵庫県信用保証協会

I. 貴社の概要について

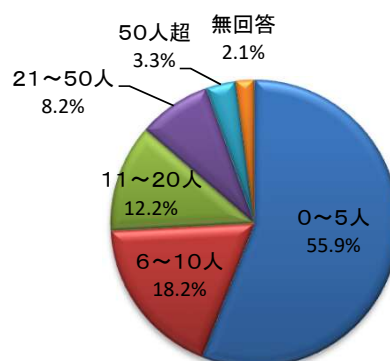
主たる事業所の所在地はどこにありますか。

当協会の部署	回答数	構成比
神戸事務所	109	34.0%
阪神事務所	92	28.7%
姫路事務所	54	16.8%
但馬支所	18	5.6%
淡路支所	16	5.0%
西脇支所	15	4.7%
加古川支所	17	5.3%
小計	321	100.0%
地域不明・無回答	8	-
合計	329	-



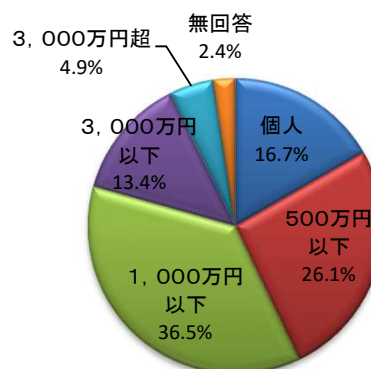
従業員数をご記入ください。

従業員数	回答数	構成比
0～5人	184	55.9%
6～10人	60	18.2%
11～20人	40	12.2%
21～50人	27	8.2%
50人超	11	3.3%
無回答	7	2.1%
合計	329	100.0%



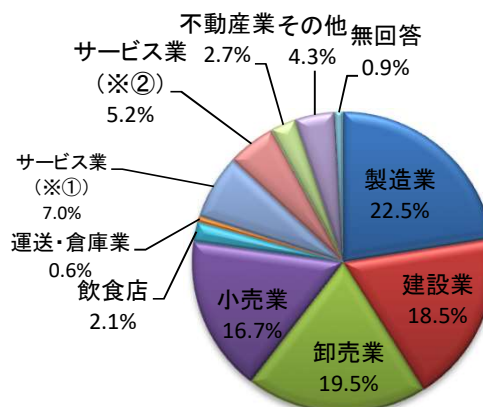
資本金をご記入ください。 ※個人は「0万円」と記入

資本金	回答数	構成比
個人	55	16.7%
500万円以下	86	26.1%
1,000万円以下	120	36.5%
3,000万円以下	44	13.4%
3,000万円超	16	4.9%
無回答	8	2.4%
総計	329	100.0%



主要な事業は以下のどの業種に分類できますか。

業種	回答数	構成比
製造業	74	22.5%
建設業	61	18.5%
卸売業	64	19.5%
小売業	55	16.7%
飲食店	7	2.1%
運送・倉庫業	2	0.6%
サービス業(※①)	23	7.0%
サービス業(※②)	17	5.2%
不動産業	9	2.7%
その他	14	4.3%
無回答	3	0.9%
合計	329	100.0%



※① 事業者を対象

※② 一般消費者を対象

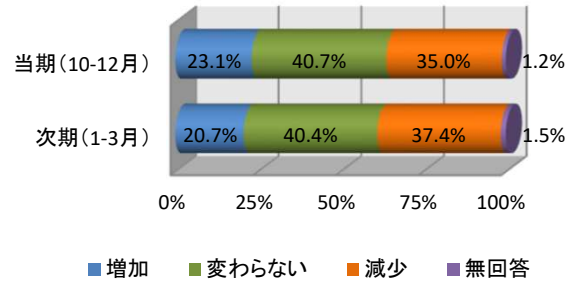
II. 貴社の景況、借入難易感についてお尋ねします。

- (1) 当期(19年10～12月期)は、前期(19年7～9月期)に比べどのような状況ですか。
 (2) 次期(20年1～3月期)は、当期(19年10～12月期)に比べどう思いますか。

【生産・売上】

当期

選択肢	回答数	構成比
増加した	76	23.1%
変わらない	134	40.7%
減少した	115	35.0%
無回答	4	1.2%
総計	329	100.0%



次期

選択肢	回答数	構成比
増加すると思う	68	20.7%
変わらないと思う	133	40.4%
減少すると思う	123	37.4%
無回答	5	1.5%
総計	329	100.0%

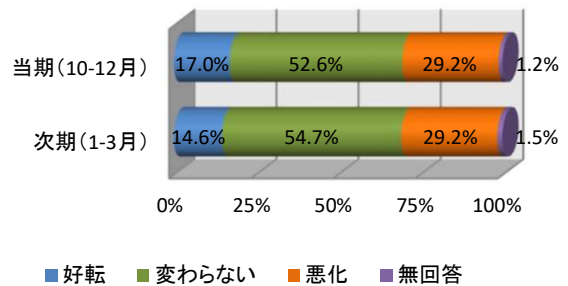
生産・売上DI(増加－減少)

調査時期(実績)	2017年10～12月	2018年1～3月	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月(見込み)
兵庫県	▲ 5.2	▲ 9.4	▲ 4.5	▲ 5.4	▲ 0.5	▲ 15.8	▲ 6.6	▲ 8.7	▲ 11.9	▲ 16.7

【採算】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	56	17.0%
変わらない	173	52.6%
悪化した	96	29.2%
無回答	4	1.2%
総計	329	100.0%



次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	48	14.6%
変わらないと思う	180	54.7%
悪化すると思う	96	29.2%
無回答	5	1.5%
総計	329	100.0%

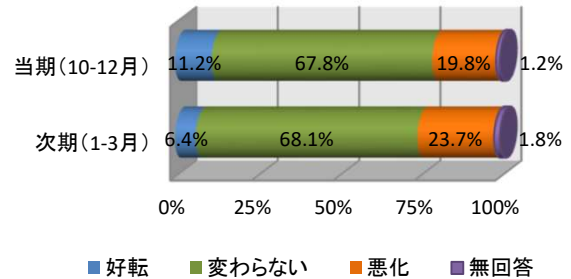
採算DI(好転－悪化)

調査時期(実績)	2017年10～12月	2018年1～3月	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月(見込み)
兵庫県	▲ 10.0	▲ 14.3	▲ 10.6	▲ 13.5	▲ 4.8	▲ 13.9	▲ 12.3	▲ 15.9	▲ 12.2	▲ 14.6

【資金繰り】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	37	11.2%
変わらない	223	67.8%
悪化した	65	19.8%
無回答	4	1.2%
総計	329	100.0%



次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	21	6.4%
変わらないと思う	224	68.1%
悪化すると思う	78	23.7%
無回答	6	1.8%
総計	329	100.0%

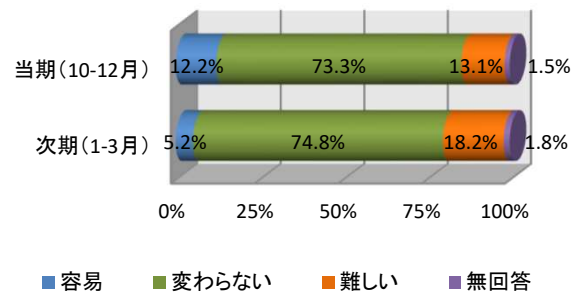
資金繰りDI(好転-悪化)

調査時期(実績)	2017年 10~12月	2018年 1~3月	2018年 4~6月	2018年 7~9月	2018年 10~12月	2019年 1~3月	2019年 4~6月	2019年 7~9月	2019年 10~12月	2020年 1~3月(見込み)
兵庫県	▲ 7.9	▲ 8.1	▲ 11.3	▲ 6.0	▲ 7.5	▲ 12.0	▲ 9.1	▲ 14.2	▲ 8.5	▲ 17.3

【借入難易感】

当期

選択肢	回答数	構成比
容易になった	40	12.2%
変わらない	241	73.3%
難しくなった	43	13.1%
無回答	5	1.5%
総計	329	100.0%



次期

選択肢	回答数	構成比
容易になると思う	17	5.2%
変わらないと思う	246	74.8%
難しくなると思う	60	18.2%
無回答	6	1.8%
総計	329	100.0%

借入難易感DI(容易-難しい)

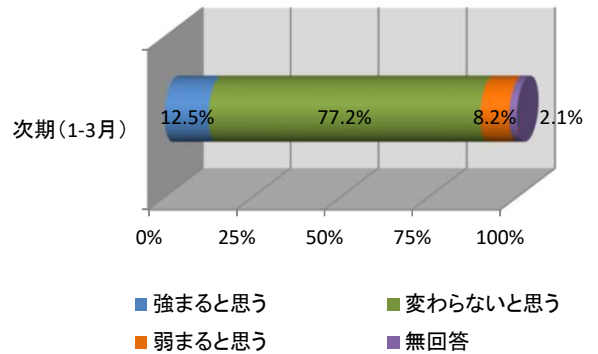
調査時期(実績)	2017年 10~12月	2018年 1~3月	2018年 4~6月	2018年 7~9月	2018年 10~12月	2019年 1~3月	2019年 4~6月	2019年 7~9月	2019年 10~12月	2020年 1~3月(見込み)
兵庫県	▲ 3.8	▲ 1.5	▲ 3.5	▲ 0.9	▲ 1.9	▲ 2.4	▲ 0.9	▲ 5.6	▲ 0.9	▲ 13.1

当期(10-12月)では、「生産・売上」DI値が前回調査(7-9月)に比べ悪化しましたが、「採算」「資金繰り」「借入難易感」DI値は前回調査(7-9月)に比べ改善しました。
次期(1-3月)では全ての項目で当期(10-12月)よりも悪化する見込みとなっています。

【金融機関からの信用保証付要請】

次期

選択肢	回答数	構成比
強まると思う	41	12.5%
変わらないと思う	254	77.2%
弱まると思う	27	8.2%
無回答	7	2.1%
総計	329	100.0%



信用保証付要請DI(強まるー弱まる)

調査時期 (見込み)	2017年 7~9月 (10~12月)	2017年 10~12月 (1~3月)	2018年 1~3月 (4~6月)	2018年 4~6月 (7~9月)	2018年 7~9月 (10~12月)	2018年 10~12月 (1~3月)	2019年 1~3月 (4~6月)	2019年 4~6月 (7~9月)	2019年 7~9月 (10~12月)	2019年 10~12月 (1~3月)
兵庫県	5.4	1.4	5.4	▲ 0.9	4.0	7.8	4.3	7.7	4.7	4.3

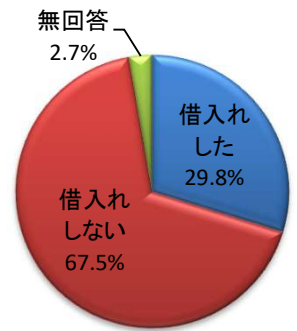
金融機関からの信用保証付要請は、「強まると思う」とする回答が、「弱まると思う」とする回答を上回っています。

Ⅲ.当期(19年10～12月期)の借入れ(実績見込)についてお尋ねします。

当期に金融機関から借入れをしましたか。
※手形の割引は含めません

選択肢	19年10～12月期		19年7～9月期	19年4～6月期	19年1～3月期	18年10～12月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
借入れした	98	29.8%	31.6%	32.0%	31.8%	36.1%
借入れしない	222	67.5%	67.0%	67.4%	67.9%	63.4%
無回答	9	2.7%	1.4%	0.6%	0.3%	0.5%
総計	329	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

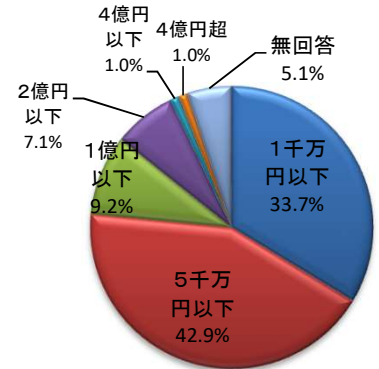
当期の借入れは、前回調査と比べ、1.8ポイント減少しています。



当期に借入れした総額はいくらですか。

借入れ総額	19年10～12月期		19年7～9月期	19年4～6月期	19年1～3月期	18年10～12月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
1千万円以下	33	33.7%	31.9%	44.6%	41.9%	40.7%
5千万円以下	42	42.9%	48.7%	38.4%	44.4%	44.4%
1億円以下	9	9.2%	4.4%	4.5%	6.0%	5.2%
2億円以下	7	7.1%	7.1%	1.8%	1.7%	2.2%
4億円以下	1	1.0%	0.0%	1.8%	0.9%	2.2%
4億円超	1	1.0%	0.9%	0.9%	0.9%	0.0%
無回答	5	5.1%	7.1%	8.0%	4.3%	5.2%
総計	98	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

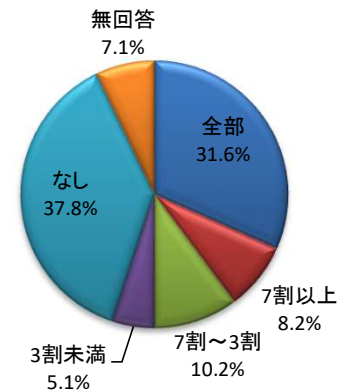
当期の借入総額は「1千万以下」「5千万円以下」の合計が76.6%となり、構成比の大半を占めています。



当期の借入金額のうち、信用保証付き借入れの割合はどのくらいですか。

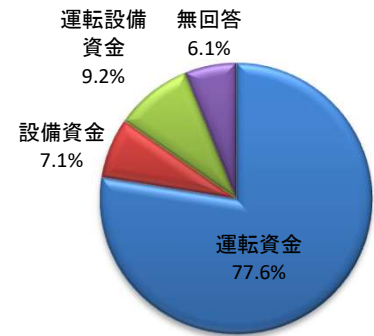
選択肢	19年10～12月期		19年7～9月期	19年4～6月期	19年1～3月期	18年10～12月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	31	31.6%	32.7%	32.1%	31.6%	38.5%
7割以上	8	8.2%	2.7%	7.1%	10.3%	8.1%
7割～3割	10	10.2%	16.8%	10.7%	12.8%	13.3%
3割未満	5	5.1%	7.1%	3.6%	1.7%	6.7%
なし	37	37.8%	32.7%	37.5%	39.3%	25.9%
無回答	7	7.1%	8.0%	8.9%	4.3%	7.4%
総計	98	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

前回調査と比べ、信用保証付き借入れの割合は「全部」とする回答が、1.1ポイント減少し、「なし」とする回答が5.1ポイント増加しました。



当期借入金の目的は何ですか。

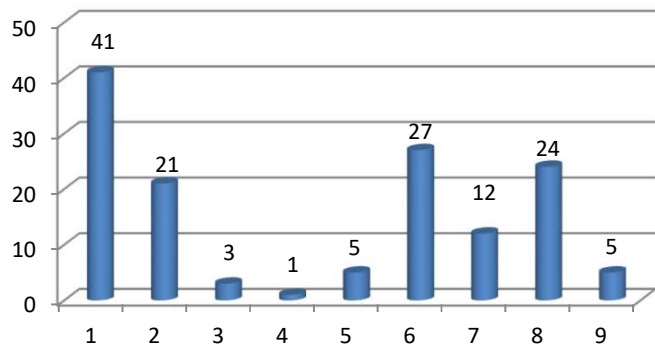
選択肢	回答数	構成比
運転資金	76	77.6%
設備資金	7	7.1%
運転設備資金	9	9.2%
無回答	6	6.1%
総計	98	100.0%



当期借入金の目的は、「運転資金」とする回答が大半を占めています。

上記で「運転資金」「運転設備資金」と答えた方は、運転資金の種類は何ですか(複数回答)。

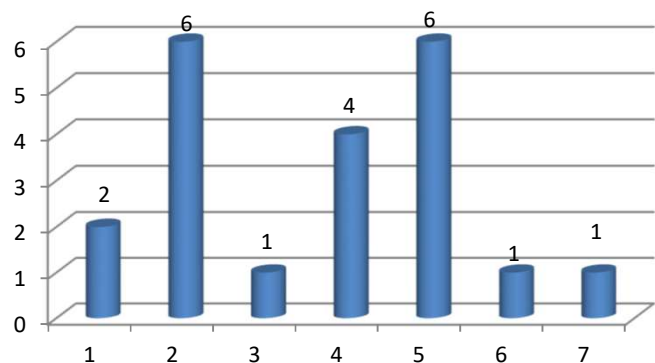
選択肢	回答数
1 既往借入の借換え	41
2 売上減少・赤字補填	21
3 過剰在庫対応	3
4 支払条件短縮対応	1
5 回収条件悪化対応	5
6 売上増加運転資金	27
7 在庫積み増し	12
8 季節運転資金	24
9 その他	5
総計	139



運転資金の種類は、「既往借入の借換え」が最も多く、次いで「売上増加運転資金」「季節運転資金」となっています。

上記で「設備資金」「運転設備資金」と答えた方は、設備資金の種類は何ですか(複数回答)。

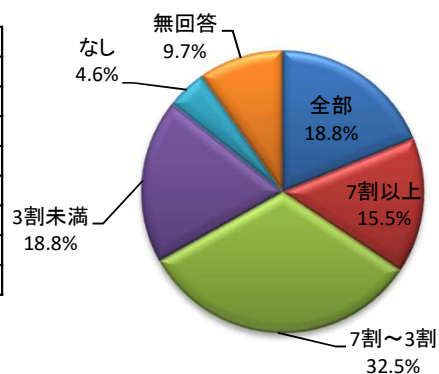
選択肢	回答数
1 新規事業	2
2 生産増強	6
3 合理化・効率化	1
4 設備老朽化に伴う入替	4
5 修理・修繕	6
6 公害防止・環境関連	1
7 その他	1
総計	21



設備資金の種類は、「生産増強」「修理・修繕」が最も多く、次いで「設備老朽化に伴う入替」となっています。

IV. 信用保証の利用についてお尋ねします。当期末(19年12月末)借入総残高に占める信用保証利用の割合はどのくらいですか。

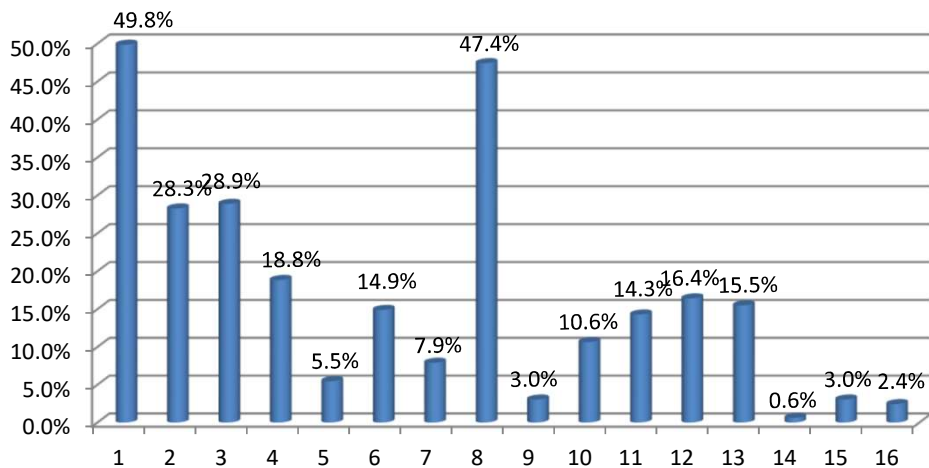
選択肢	19年10~12月期		19年7~9月期	19年4~6月期	19年1~3月期	18年10~12月期
	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	62	18.8%	19.0%	18.0%	21.5%	20.9%
7割以上	51	15.5%	16.8%	15.1%	17.1%	15.2%
7割~3割	107	32.5%	35.2%	34.6%	29.6%	36.1%
3割未満	62	18.8%	18.2%	19.1%	19.0%	16.8%
なし	15	4.6%	6.4%	6.9%	7.3%	4.8%
無回答	32	9.7%	4.5%	6.3%	5.4%	6.1%
総計	329	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



信用保証利用の割合は、「全部」「7割以上」「7割~3割」「なし」とする割合が減少し、「3割未満」とする割合が増加しました。

V. その他(経営上の課題等)について該当する番号をご記入ください(複数回答)。

選択肢	回答数	回答割合	選択肢	回答数	回答割合
1 売上・受注の減少	164	49.8%	9 過剰在庫	10	3.0%
2 競争激化	93	28.3%	10 設備投資	35	10.6%
3 コスト高	95	28.9%	11 後継者難	47	14.3%
4 業界構造変化	62	18.8%	12 資金調達	54	16.4%
5 取引条件の悪化	18	5.5%	13 借入過多	51	15.5%
6 消費者ニーズの多様化	49	14.9%	14 為替	2	0.6%
7 技術・商品開発	26	7.9%	15 海外景気の減速	10	3.0%
8 人材・労働力の確保	156	47.4%	16 その他	8	2.4%



経営上の課題については、「売上・受注の減少」、「人材・労働力の確保」「コスト高」が上位となっています。
次いで、「競争激化」「業界構造変化」「資金調達」の順となっています。

